

兵庫の林業

〈兵庫県立森林大学校〉新たな学生募集とオープンキャンパスの開催
令和7年度林業普及事業の展開



もくじ

- 令和7年度 県功労者知事表彰・1
- 環境保全功労者知事表彰・1
- 森林ボランティア活動紹介・2
- 令和7年度狩猟免許試験のご案内・2
- 〈兵庫県立森林大学校〉新たな学生募集とオープンキャンパスのご案内・3
- 伐木災害防止研修のご案内・4
- 令和7年度林業普及事業の展開・5
- 〈技術シリーズ〉カメムシ類の発生パターンと加害による発芽率への影響・7
- 〈研究報告〉土場での丸太選別作業におけるICT技術活用検討・9
- 〈普及だより〉木育の取組・10
- 木材市況・住宅着工数の報告・11
- 県産広葉樹苗木育成研修のご案内・11
- 「六甲山の災害展」のご案内・12
- 「ひょうご里山フェスタ2025」のご案内(裏表紙)
- 「第40回ひょうご木材フェア」のご案内(裏表紙)
- 編集後記・(裏表紙)
- 題字・ 兵庫県知事 齊藤元彦氏

表紙の写真

兵庫県立森林大学校は、西日本唯一の森林分野の2年制専修学校です。

当校は、森林林業に関わる人材を幅広く育成しています。その一環として、令和6年9月に鳥取市で行われたアカデミー・ジュニアクラス伐木競技交流会に参加しました。

これに森林大学校の学生4名が参加しました。この大会は、全国の林業を学ぶ人たちと競技を通じて絆を深めることを目的とした大会です。大会の一か月前から放課後や早朝に練習を重ね、(競技名・簡易伐倒競技)個人で5位に入る学生もいました。今後の活躍に期待します。

令和7年度 県功労者表彰等被表彰者の皆様

兵庫県功労者知事表彰

中 塚 一 裕 氏

株式会社中塚木材商店 代表取締役



主なご功績

平成10年4月から姫路木材協同組合の理事に就任、平成16年6月から副理事長、平成24年5月からは理事長として活躍。また、平成16年6月からは、姫路木材市場協同組合理事長、姫路木材港関連の要職に就いています。さらに、平成24年5月からは兵庫県木

材業協同組合連合会副会長、県産木材供給部会会長並びに林業・木材製造業労働災害防止協会兵庫県支部理事となり、地域・県域の木材産業の振興・発展に貢献されました。特に木材利用の推進と業界の取り組みに尽力され県民に木材の良さを知ってもらうイベント「ひょうご木材フェア」等の出展企画に積極的に参加し、自らも木工教室に携わり参加者への指導に努められました。

また、県立ものづくり大学校「ものづくり体験館」のオープンにあたり、木造建築の担い手育成の研修用教材「木造住宅模型（実寸大の部分模型）」を姫路木材協同組合から寄贈するなど、地域の木造住宅の担い手

育成に貢献するなど、本県に対し絶大な協力を行っている功績は、誠に大きなものです。

兵庫県功労者表彰（環境功労）

西 坂 越 次 氏

一般社団法人兵庫県猟友会 監事



主なご功績

平成20年に兵庫県猟友会佐用支部長に就任後、平成23年には県猟友会監事に就任し令和6年5月に退任されるまでの13年間、同会役員として適切な組織運営や狩猟後継者の確保、野生動物の保護管理の推進に大きく貢献されました。特に、初心者狩猟免許講習会では、長年に渡って講師を務めたほか、西播磨地域での狩猟体験会や狩猟マイ

スター育成スクール等でも中心的役割を担われました。また、県が推進する野生動物の計画的な保護管理に積極的に参画されており、岡山県の猟友会支部と連携・協力して捕獲圧の低下しがちな県境地域での有害捕獲活動を積極的に推進するなど、本県に対し多大な協力を行っている功績は、誠に大きなものです。

兵庫県功労者知事表彰

中 道 忠 憲 氏

前北はりま森林組合 代表理事組合長



主なご功績

平成18年8月から北はりま森林組合の理事に就任し、平成27年8月からは代表理事組合長を務められ、令和6年9月14日まで勤められました。この間、同組合の健全な経営と発展、地域の森林整備の推進に大きく貢献されています。林業（生業）に関する功績

では、効率的な素材生産を遂行するため、作業道開設の推進と高性能林業機械の導入による原木生産低コスト化を進めた結果、令和3年度、受託生産量は27,476m³、令和4年度は、27,078m³と年間計画25,000m³を超えており、安定的・計画的な原木生産体制を確立されました。

また、森林整備推進に関する功績では、森林の公益的機能の高度発揮に関する認識も高く、「災害に強い森づくり」や「森林環境譲与税による森林整備」の推進に積極的に取り組み、令和4年には年間間伐面積377haと過去最高となる整備実績に繋げ、氏の持つ行動力と指導力、豊富な経験からなる高い認識により、北播磨地域の森林整備の推進と林業の活性化に寄与され、その功労は多方面にわたり計り知れません。

令和7年度環境保全功労者知事表彰

みはらし会（たつの市）



同会は、平成15年7月に設立され、たつの市御津町に位置する「みはらしの森」を活動地として、雑木林や竹林の整備に取り組まれています。

活動開始当初の活動地は竹の侵入にさらされていましたが、地元有志の長年の活動により瀬戸内海を見渡せる良好な景観を獲得しています。

また、2kmに及ぶ遊歩道を整備した結果、地元幼稚園等がみはらしの森を訪れる等地元住民の憩いの場になっているほか、みはらしの森が津波避難所に指定されていることから、整備した遊歩道が緊急時の避難道になるなど防災面にも貢献しています。

森林ボランティア活動

NPO 法人 Co-creation このゆびとまれ

理事長 京橋 健一郎

当会は平成26年に設立された天王町竹林保全活動組織を前身としており、令和4年に現在の体制になりました。設立のきっかけは活動地である神戸市兵庫区天王町の竹林の荒廃とこのままではふもとの神戸市民に被害が及ぶかもしれないとの思いでした。活動組織のコンセプトは「兵庫区の里山を通じてこどもの自然体験や学びの場の機会の提供と地域コミュニティの形成を図る。」であり、老若男女が活動地に集まり活動を通して交流していくことを目指しました。

活動組織の設立後は、竹林整備を中心に伐採した竹の活用に取り組んでいます。また、コンセプトにあるとおり活動組織メンバーだけでなく、付近の高校・大学・一般市民からも参加者を募り、活動を通して多世代交流をしているほか、みんなが集まるシンボルとしてツリーハウスを建設しました。こうして集まった人々同士をつなげることで、活動のネットワークを徐々に広げた結果、今では多くの方に協力いただいています。

年間を通じて活動地の整備活動に取り組んでいるほ

か、4～5月のタケノコ堀や10月の竹細工体験など毎月様々な行事を企画しています。これらの行事には多くのこどもたちが参加しており、普段は来ることができない自然の中でのびのびと動き回っています。保護者が指示することなく、こどもたちが自発的に竹や廃材などでシーソーやベッドを制作し里山を満喫します。また、こどもだけでなく大人も活動に参加し、こどもたちに負けず劣らず里山を楽しんでいます。

今後も里山を通じてこどもの自然体験や学びの場となるよう、支援いただいている方々と共に活動を継続して参ります。



ツリーハウス



竹細工体験会

令和7年度狩猟免許試験のご案内

兵庫県では、今年度も次のとおり狩猟免許試験を実施しますので、ご案内いたします。

【狩猟免許とは】

狩猟期間中にシカやイノシシなどの狩猟鳥獣を捕獲するのに必要な資格です。

また、県や市町の許可を受けて実施する有害鳥獣捕獲にも原則必要です。

【狩猟の楽しみと公益性】

狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。

【免許の種類】

- ・網猟(主に鳥類)
- ・わな猟(獣類のみ)
- ・第一種銃猟(装薬銃・空気銃)
- ・第二種銃猟(空気銃)

【試験の日程と場所】

(○内の数字は開催回)
試験日及び場所
⑤9月6日(土) 神戸市(兵庫県中央労働センター)
⑥9月12日(金) 姫路市(兵庫県立姫路労働会館)
⑦9月20日(土) 神戸市(兵庫県立のじぎく会館)
申込み期間(⑤～⑦)：7月28日(月)～8月8日(金)
試験日及び場所
⑧11月8日(土) 神戸市(兵庫県中央労働センター)

※わな猟、第一種銃猟、第二種銃猟のみ
申込み期間(⑧)：9月29日(月)～10月10日(金)

【申込みに必要なもの】

- ・狩猟免許申請書・写真
 - ・申請手数料・医師の診断書(原本)
- ※申請時に銃砲所持許可証の写しをお持ちの方は、医師の診断書に替えることができます。

【申込み方法】

持参、あるいは特定記録郵便による郵送

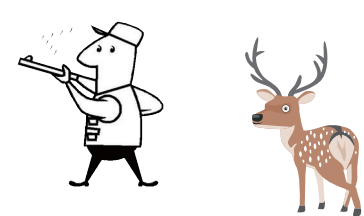
【受付場所(提出先)】

〒650-8567(兵庫県庁の固有番号です。)

兵庫県 環境部 自然鳥獣共生課 鳥獣保護管理班
朱書きで「狩猟免許申請書在中」と記載してください。

【兵庫県ホームページ】

「令和7年度狩猟免許試験案内」
https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk27/hw24_000000008.html



【お問い合わせ先】

兵庫県環境部自然鳥獣共生課鳥獣保護管理班
TEL：078-362-9084
(自然鳥獣共生課 石井)

兵庫県立森林大学校学生募集とオープンキャンパス開催のお知らせ

兵庫県立森林大学校で森林・林業について学びませんか。本校では、次の学生・研修生を募集しています。

1 兵庫県立森林大学校の特徴

- ★本校は西日本唯一の森林を専門とする2年制専修学校です。
- ★専攻科を卒業時に、専門士(森林林業専門課程)の称号が付与されます。(専門コース受講者は対象外)
- ★就業に有利な資格22種が取得可能です。
- ★求人倍率は驚異の10倍(令和6年度実績)
- ★充実の学費・住宅支援



現2年生集合写真

2 令和8年度入学生募集(4月入学) 4/1からスタート!

令和8年4月1日入学の学生を募集しています。

(1) 入試日程及び入試区分 等

日程	7/27(日)	10/10(日)	12/14(日)	3/15(日)
区分	一般 自己推薦 事業体推薦	指定校推薦 学校推薦	一般 自己推薦 事業体推薦	一般 自己推薦 事業体推薦
出願期間	6/27～7/11	9/5～9/19	11/14～11/28	2/12～2/26
試験会場	森林大学校		兵庫県姫路総合庁舎	
定員	定員20名			
試験科目	推薦：小論文（400字程度）1題、面接 一般：小論文（400字程度）2題、面接			

(2) 出願資格

一般・共通	令和8年4月1日現在、40歳以下で、高等学校卒業または同等の学力を有する者
自己推薦	経験を活かし経歴等から自ら推薦できる者
事業体推薦	事業体が推薦する者
学校推薦	評価平均3.0以上で、高等学校長が推薦する者

(3) その他

募集要項や募集チラシなど、より詳しい情報については、以下の県ホームページをご覧ください。

森林大学校 入試

https://web.pref.hyogo.lg.jp/so01/gakuseiboshu_2020.html



3 令和7年度10月入学生募集 New 10/1からスタート!

社会人など入学希望者の多様化に伴い、年度途中からでも柔軟に入学生を受け入れるため、令和7年10月1日入学の学生を新たに募集しています。

今秋から入学可能な方は、是非、この機会に出願下さい。

○入試日程及び入試区分 等

試験日程	9/7(日)
区 分	一般、自己推薦、事業体推薦
試験会場	森林大学校
定 員	定員19名
出願期間	7/1(火) ~ 8/25(月) 必着

※試験科目、出願資格は令和8年度4月入学生と同様ですが、40歳以下とする年齢の基準は令和7年10月1日現在となります。

※募集要項や募集チラシなど、より詳しい情報については、以下の県ホームページをご覧ください。

森林大学校 10月入学

https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/2025_10_gatsunyugaku_senkouka.html



4 令和7年度研修生募集<研修科専門コース>New 10/1から受講可能

- ・年齢制限はございません。41歳以上の方でも申請可能な1.5年間の研修プログラムです。
- ・林業関係の科目のみならず、保健休養学や樹木医学など幅広い専攻科のカリキュラムから希望する専門的な科目を選んで受講できます。
- ・林業就業に必要な資格や狩猟免許など最大19の資格が取得可能です。
- ・申請いただいた方から、順次、面接を実施します。



保健休養学イメージ

○募集期間 等

募集期間	7/1(火) ~ 9/19(金)
面接会場	森林大学校
定 員	定員5名
受 講 料	9,900円/月(その他、諸経費あり)

※実施要領や募集チラシなど、より詳しい情報については、以下の県ホームページをご覧ください。

森林大学校 専門コース

https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/2025_tankisenmon_course_bosuu.html



5 オープンキャンパスの開催

林業体験や学校の説明、個別相談などで構成するオープンキャンパスを以下の予定で開催します。

当日は、学生も参加し、学校生活の“生の声”も聞いていただけます。

入学を検討されている方は、気軽に参加下さい。なお、事前に連絡をいただければ、随時、学校見学いただけます。是非、お越しください!

○オープンキャンパス(7・8月)開催スケジュール

開催日	7/21(月・祝)	8/24(日)
内 容	■高性能林業機械体験(宍粟市波賀町内の伐採現場で実施予定) ■シカ肉バーガー試食 ■学校説明会・個別相談会	■学生の林業機械実演(校庭にて本校学生が実演します。試乗も可能) ■学校見学 ■学校説明会・個別相談会
申込期限	7/11(金)	8/18(月)
場 所	森林大学校ほか	森林大学校

※参加には事前申込が必要となります。

※詳しい情報は、以下の県ホームページをご覧ください。

伐木災害防止研修のご案内

令和2年度から県立森林大学校主催で実施している「伐木災害防止研修」では、愛林興業(株)の松田氏に講師をお願いし、伐倒練習機を用いて伐倒技能を検証するなどにより、的確で安全な伐木作業を学んでいるところです。初心者からベテランの方まで、自らの技能を客観的に評価し、技能の向上を目指す良い機会かと考えます。



研修風景



林業機械実演



在校生による学校紹介

森林大学校 オープンキャンパス

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/cs01/2025opencampus.html>



6 問合せ先

兵庫県立森林大学校 (TEL: 0790-72-2700)

なお、本校についての詳しい情報は、本校にお電話いただくか、以下の県ホームページをご覧ください。

また、本校の魅力を紹介するパンフレット(PDF版)を同ページ内の学校紹介ページからご覧いただけますので、是非、一読下さい。

森林大学校

https://web.pref.hyogo.lg.jp/aff/cate2_410.html



今年度は、9月25日、10月28日、11月20日、12月11日、1月15日、2月19日の実施を予定しています。

県立森林大学校のホームページ「研修課などからのお知らせ」に、受講案内の手続きなどが掲載されていますので、そちらもご確認ください。

なお、林業技能検定制度の取組も始まっています。「技能士」認定に向けても効果的な研修かと思しますので、本研修の受講をお勧めします。

【林業技能検定制度】

職業上必要とされる技能の習得レベルを評価するための国家検定制度である「技能検定」に「林業職種」が新設され、「(一社)林業技能向上センター」が試験を実施しています。

経験年数で5年以上の1級、2年以上の2級、特に定めない3級に区分され、実技試験と学科試験両方合格により「技能士」に認定されますが、実技試験では1級と2級は、受け口・追い口作成作業、3級は丸太輪切り作成作業が課題になっています。

今年度の受検申請は6月末に終了していますが、来年以降も実施される見込みです。

(兵庫県営林緑化労働基金 村上)

令和7年度林業普及事業の展開について

兵庫県農林水産部 林務課

■はじめに

本県の森林は、戦後造林された人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、この豊富な森林資源を伐採して利用し、伐採した跡には、木を植えて育てるといった森林資源の循環利用を進めていくことが、これからのカーボンニュートラルを目指す社会で求められています。

森林資源の循環利用である主伐・再造林を推進していくためには、森林所有者の収益が確保され、さらに森林の更新が確実に行われることが重要です。このため、県では、令和元～4年度に実施された主伐・再造林事業地のデータを収集して分析し、収益を確実に確保し、森林の更新も確実に行うための事業地の条件や実施方法等を提案した低コスト普及モデルを作成しました。この普及モデルを林業事業体に対して広く普及を図っていくとともに、循環型林業を構築していくために必要な林業技術者の確保・育成や、地域で生産された木材の需要拡大にも取り組む必要があります。

また、森林経営管理制度、森林環境譲与税等、林業行政の中でその役割が非常に大きくなっている市町の支援にも取り組んで行く必要があります。

このため、令和7年度、林業普及指導事業として、以下のことについて重点的に取り組んでいきます。

■令和7年度林業普及指導事業の重点事項

1 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化

イベントや研修会、パンフレット等を通じて、調湿性やリラックス効果など木材の魅力を伝え、利用することで森林整備が進むことを啓発するとともに、県産木材利用の意識醸成を図っていきます。特に、多くの方々に利用されるオフィスや店舗、病院等非



ユキヒラやねやね（神戸市）

住宅分野への木材利用を推進していきます。

2 森林資源の循環利用と林業経営の効率化

木材生産と環境保全の調和がとれた森林へ誘導するため、林業経営に適した人工林と、奥地等の条件不利地にある人工林のゾーニングをすすめます。

林業経営に適した人工林では、需要に応じた適期の主伐を推進します。主伐・再造林は、森林資源の循環利用を進めるためにも必要なことから、低コストで効率的な方法を提案した「主伐・再造林低コスト普及モデル」の普及を図り、確実な更新の実現と持続的かつ安定的な木材の供給を目指していきます。

また、奥地等の条件不利地にある人工林では、市町が実施する森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備を支援し、管理コストの低い自然に近い森林へと誘導していきます。

さらに、県立森林大学校において、森林組合等林業事業体の林業従事者を対象に、林業に関する技術・知識の習得を目的とした研修を行い、育成を図るとともに、林業就業希望者を対象にガイダンスを開催し、林業従事者の確保にも取り組んでいきます。



再造林地の植生調査（香美町）

3 野生動物の管理や被害対策の推進

シカ等の野生動物による農業被害対策としては、森林動物研究センターや市町と連携し、被害対策に集落ぐるみで取り組んでいる集落に対して、捕獲や防除に関する研修会の開催や助言指導を行っています。

また、林業被害の軽減に向けて、造林地での防護柵設置方法について、「主伐・再造林低コスト普及モデル」により効果的な方法について提案するとともに、事業地での指導を行っています。



箱わなによる捕獲指導（丹波市）

4 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進

森林の公益的機能の維持・向上を図り、災害に強い森に変えていくため、県民緑税を活用して間伐後の人工林の表土流亡対策や災害緩衝林の整備、農業被害地において野生動物と棲み分けを図るためのバッファークーンの整備等の「災害に強い森づくり」事業について、事業の特徴や効果について普及啓発を行っていくとともに、地域住民に事業内容を説明し、事業実施についての合意形成を図っていきます。



野生動物共生林整備事業によるバッファークーン整備（丹波市）

5 関係機関との協力体制の構築

森林林業技術センターの協力のもと、高強度梁仕口「TAPOS」や「心去り平角材」等、開発された技術・知識の普及・定着を図っていきます。

さらに、林業経営体に対する森林経営計画の作成・実行支援、市町に対する森林経営管理制度の運用及び森林環境譲与税の活用に向けた助言・指導等を行っています。

以上、皆様とともに「多様で健全な森林を次代につなぐ」取組を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度 林業普及指導職員名簿

	職 名	氏 名	普及指導区
革新支援その他	林 務 課		(1名)
	林政調整班主幹	高山 勉	全県
	森林林業技術センター		(3名)
	林業専門技術員	福島 智則	全県
	林業専門技術員	浅田 佐知子	全県
	主査	山下 毅	全県
	県立森林大学校		(1名)
他	主査	大黒 明子	全県
	森林動物研究センター		(1名)
	森林動物専門員	尾畑 俊彦	全県
	計	6名	

神戸阪神東播淡路普及指導区	神戸農林振興事務所		(3名)
	森林課長	岩崎 幸太郎	神戸市
	主査	小谷 洋平	神戸市
	主任	赤松 遼平	神戸市
	阪神農林振興事務所		(2名)
	里山・森林課長	紙本 雅弘	管内全域
	副主任	森本 麻友美	管内全域
	加古川農林水産振興事務所		(2名)
	森林課長	福政 俊浩	管内全域
	主任	村田 淳	管内全域
洲本農林水産振興事務所			(2名)
	農政専門員	上野 茂樹	管内全域
	主査	鈴木 大智	管内全域
	計	9名	

北播丹波普及指導区	加東農林振興事務所		(5名)
	所長補佐兼森林課長	下郷 太郎	管内全域
	農政専門員	谷口 英樹	加西市・加東市
	主査	岡本 朋美	多可町
	主任	水野 彰	西脇市
	副主任	名田 勝貴	三木市・小野市
	丹波農林振興事務所		(4名)
	森林課長	上村 公浩	丹波篠山市（旧篠山町・西紀町）
	課長補佐	南都 義道	丹波篠山市（旧丹南町・今田町）
	課長補佐	久保田 誠司	丹波市氷上町・青垣町・山南町
	主任	津欄鹿 信雄	丹波市柏原町・春日町・市島町
	計	9名	

中播西播普及指導区	姫路農林水産振興事務所		(3名)
	課長	上川 総司	管内全域・姫路市
	主査	石坂 知行	市川町・福崎町
	主任	藤原 美雪	神河町
	光都農林振興事務所		(4名)
	所長補佐兼森林第1課長	岩成 麻子	相生市、赤穂市、太子町、上郡町
	課長補佐	浅田 知宏	宍粟市一宮町
	主査	大橋 正知	宍粟市山崎町、佐用町
	主任	谷 俊徳	たつの市、宍粟市波賀町・千種町
	計	7名	

但馬普及指導区	豊岡農林水産振興事務所		(2名)
	森林課長	上田 敦祐	豊岡市
	課長補佐	高寄 誠	美方郡
	朝来農林振興事務所		(5名)
	森林第2課長	妻形 淳史	管内全域
	農政専門員	井上 靖	養父市（養父・八鹿地区）
	課長補佐	上坂 亮太	養父市（大屋・関宮地区）
	主査	小倉 佳紀	朝来市（和田山・山東地区）
	主任	福田 祐介	朝来市（朝来・生野地区）
	計	7名	
	合計	38名	

（林政調整班主幹（林政推進・普及担当）高山 勉）

技術シリーズ

スギ採種園におけるカメムシ類の発生パターンと加害による発芽率への影響

兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 中川 湧太

1. カメムシ類とスギの種子

秋になると家の近くにやってきて、触れると強烈なおいを放つカメムシ類（図1）が、実はスギの種子にも被害をもたらしているのをご存知でしょうか？

一般に、カメムシ類は図2の生活史（生まれてから次世代が生まれるまでのサイクル）を営んでおり、発生が多い年（表年）と少ない年（裏年）が交互に起こると言われています。カメムシ類は、種子が成熟する夏から秋にかけてスギに飛来し、球果の表面から種子に口針を挿し込んで吸汁し、林内で繁殖することが知られています。吸汁された種子は発芽能力を失うため、それらの割合が増えると健全な種子が不足し、苗木生産に支障が生じます。現在、県内でスギの種子を生産、供給しているのは当センターのみであり、再造林の推進に伴い種子の安定供給が強く求められています。近年、本県ではスギの発芽率が低下傾向であり、カメムシ類が原因ではないかと考えられました。しかし、カメムシ類がいつ、どのくらいスギ採種園に飛来して、どの程度種子が加害されているかは十分に解明されていません。

そこで、スギ採種園において、①春から秋にかけてのカメムシ類の発生パターン、②カメムシ類の加害が発芽率に及ぼす影響、を明らかにするために調査を行いました。

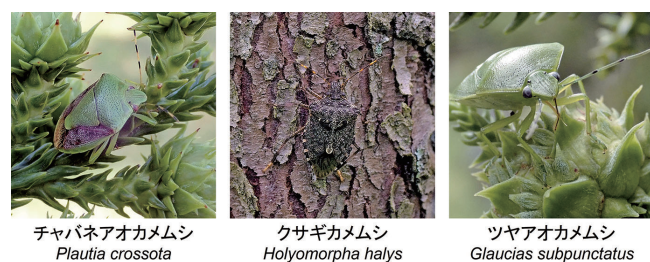


図1 主なカメムシ類（果樹カメムシ）



図2 カメムシ類の生活史

2. 調査方法

調査は、令和5、6年に緑化センター少花粉スギ採種園（朝来市）で行いました。カメムシ類の発生パターンは、「フェロモントラップ」と「ビーティング」の2つの手法で定期的に捕獲した種毎の個体数計測により調査しました（表1）。カメムシによる加害の影響は、5月中旬から防除袋（20～30×30～45cm）で球果を覆い、物理的にカメムシの侵入を防いだ「防除区」（図3）とカメムシ防除をしなかった「対照区」を設定し、処理区ごとに発芽率、口針鞘（カメムシ類が吸汁した痕跡）の有無、有胚率の計測（後者2つはR6のみ）により調査しました。

3. 結果① カメムシ類の発生パターン

いずれの手法でも、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシの3種のカメムシが確認されました。フェロモントラップでは、裏年とされた令和5年が2種 計86頭だったのに対し、表年とされた令和6年は3種 計8,179頭が確認されました。両年とも捕獲されたカメムシ類の大半がチャバネアオカメムシであり、スギ採種園ではこれらが優占種と考えられました。チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの飛来ピークは、越冬世代（前年生まれ）では7月、当年世代（当年生まれ）では

表1 カメムシ類の捕獲手法

	フェロモントラップ	ビーティング
方法	集合フェロモンに集まった成虫を捕獲	網内で枝を振り、落下した幼虫・成虫を捕獲
場所/対象	周囲に誘引源がない駐車場のそば	ジベレリン処理済み50枝（各年で固定）
時期・頻度	R5 5/2～10/11 週1回	R5 4/24～10/11 2週に1回（50枝）
	R6 4/15～11/25 週1回	R6 4/30～9/30 週1回（25枝ずつ交互）



図3 防除区の状況

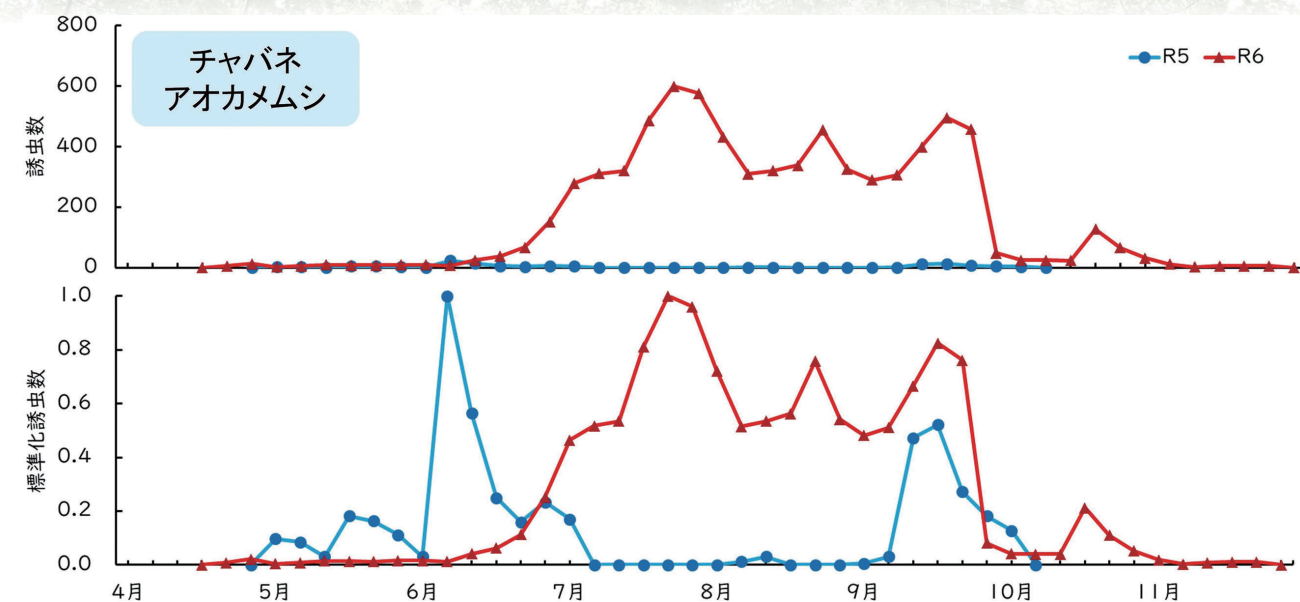


図4 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの春から秋にかけての発生パターン
標準化誘虫数：発生パターンを比較するため、年変動量をベースに補正したもの

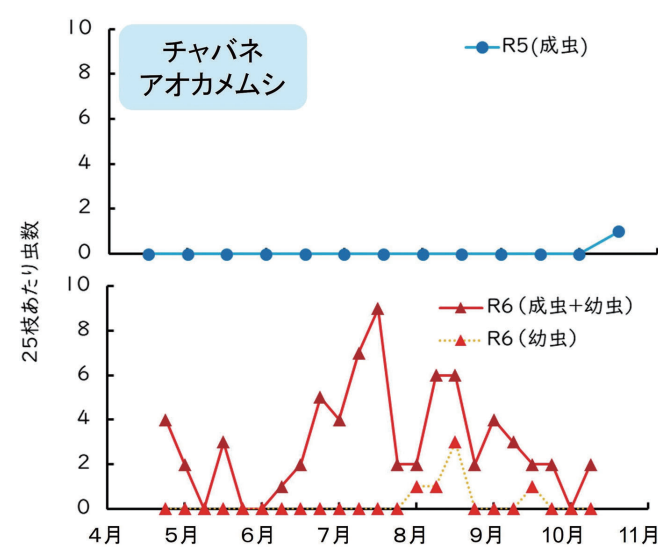


図5 ビーティングによるチャバネアオカメムシの春から秋にかけての発生パターン

8～9月と考えられました（図4）。ビーティングでは、令和5年は10月上旬からの増加が確認され、翌年（表年）に向けた増加傾向だったと考えられました（図5）。令和6年は5月上旬から成虫、7月下旬から幼虫が確認され、フェロモントラップで確認された8月以降の発生パターン（図4）は、主に当年世代（当年生まれ）によるものであることが示唆されました。

4. 結果② カメムシ類の加害による発芽率への影響

加害の証拠である口針鞘はカメムシ防除をしなかった「対照区」でのみ確認され（図6）、その割合は44%に達していました。発芽能力の一つの指標である有胚率は、「防除区」では50%であったのに対し「対照区」では4%であり、カメムシ類の加害により有胚率が大きく低下することが示唆されました。裏年であった令和5年の発芽率は、防除区が40%、対照区が36%であり、カメムシ類の影響は確認されませんでした。一方、表年であった令和6年の発芽率は、防除区が44%、対照区が7%であり、カメムシ類の加害により発芽率は8割低下しました。

5. まとめと今後

本県スギ採種園では、①チャバネアオカメムシが優占しており、飛来数は年によって大きく変動するものの、7月に飛来ピークを迎え、同月下旬には当年世代（当年生まれ）への世代交代が始まること、②カメムシ類の表年には発芽率の顕著な低下が起こること、が明らかになりました。

今後も継続したモニタリング調査によるデータ集積を進め、スギ採種園におけるカメムシ被害の軽減、カメムシの発生パターンの解明を進めていきます。

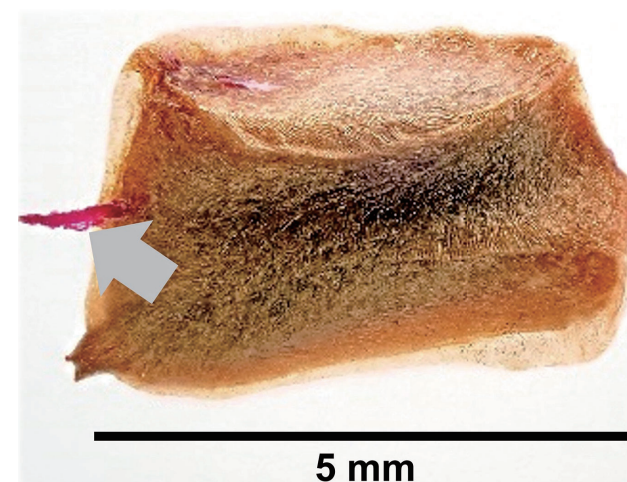


図6 スギ種子における口針鞘
（矢印部が口針鞘（酸性フクシン溶液で染色））

研究報告

土場での丸太選別作業における ICT 技術活用の検討

兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター 木材活用部 浅田佐知子

1 はじめに

兵庫県では、戦後植林された人工林が伐期を迎え、森林資源は成熟化しています。県では、令和5年度に「主伐・再造林低コスト普及モデル」を作成し、搬出間伐に加えて、主伐による木材の安定供給の取組みを進めています。

主伐再造林事業において、樹種や地形など現場条件が異なり様々な制約がある中でコスト縮減を図るには、作業工程を見直すなど収益性を高める方法について細やかに検討する必要があります。

そこで本調査では、主伐時における土場での選別・出荷作業の省力化に着目し、土場作業でのICT技術活用について評価検証しました。

2 調査地

調査地は、北はりま森林組合の丸太集積土場（多可町加美区）で広さは約3000㎡あります。

土場では、森林組合の事業地から、スギ・ヒノキ丸太（製材・合板用、森林所有者別）が随時搬入・桟積みされ、フォークリフトを用いて出荷先の規格に応じた選別仕分け作業が行われています。

3 ICT技術導入の検討

森林組合では、過去に丸太の寸法計測で既存のスマホアプリ導入を検討しましたが、出荷条件（全木末口にチョークで直径を記入）を満たせず採用を断念していました。

今回は、出荷条件を満たし、かつスマートフォンなど既存の機器で容易に使用できることを条件に導入を検討し、i-Reporter（アイレポーター）（（株）シムトップス製）が選定されました。

i-Reporterは、紙の手書き帳票やExcel帳票をそのまま移行できる現場帳票の電子化システムで、入力から集計までの業務の効率化が可能で、様式のカスタマイズも利用者側で行うことができます。また、音声入



写真1 アプリ画面と使用状況（音声入力）

力に対応しており、他の作業をしながらでも野帳に記録することが可能です。

4 調査方法

土場での選別仕分け作業について、下記①～④の工程ごとの作業時間を測定しました。合わせて、工程③でi-Reporterを使用した場合の作業時間を測定しました。

- ①平積（混在する桟から取出し樹種別に並べる）
 - ②計測（末口寸法を測りチョークで丸太に記入）
 - ③数量集計（寸法ごとに野帳に数量を記入）
 - ④出荷先・運搬車両別桟積（樹種別に移動させ桟積）
- 測定は、寸法計測場所に並べられる丸太量（平均32本）を1回として3回行い平均時間を算出しました。

5 結果と考察

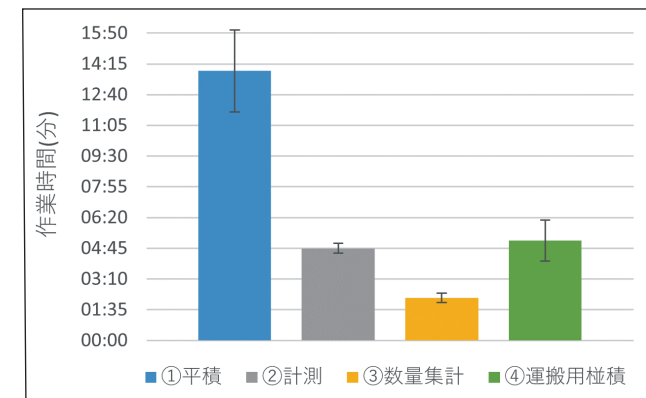


図1 工程別平均作業時間（通常作業時）

工程③の作業時間について、通常作業は2分12秒、i-Reporterは2分38秒となり作業時間は増となりました。これには作業慣れの影響が考えられ、使用経験を増やすことで改善が見込まれます。また工程③が全体時間に占める割合は8%で（図1）、時間増の影響は僅かなものでした。

一方、調査工程後の作業では、出荷用の材積集計や伝票作成にもi-Reporterを活用することで30分程度の作業時間の減（担当者への聞取り）が見込まれ、さらに転記・計算ミス削減にも繋がるため、業務全体で活用することによってシステム導入の効果が期待できます。

6 おわりに

近年人件費の上昇が著しい中で、ICT技術の導入や事務処理方法の見直しにより、省力化や低コスト化に向けた取組みは重要です。今後も、林業関係者らと連携し情報共有を図りながら、新しい技術の導入や積極的な実践に向けて取組みを進めていきます。

普及だより

「木のおもちゃで遊ぼう！」 & 「ひょうごの木製品を知ろう！」 木育の取組みについて

加古川農林水産振興事務所、加東農林振興事務所

「ひょうごの木」利用拡大加古川流域地域協議会～加古川流域「木育」推進大作戦～の取組みとして木育イベントを開催しました。

日時：2025年6月8日 10時～17時

場所：イオン明石ショッピングセンター

同じ加古川流域の加東農林振興事務所と協働のもと、林務課木材利用班の応援や「ひょうご木製品マイスター」有限会社新宅善廣商店の出展も得て、無事に開催することができました。



開始時間前から会場を何う子供も見受けられ、崩れそうな天気であったことや場所がフードコート横であったこともあり、参加した幼児・学童は親御さんも含めて200名を超え、盛況なイベントとなりました。（スタッフの皆様、ご苦労様でした。）

関心を集めたのは、幼児では「木球プール」や「音の階段」など触れると音がして動きのあるもの



が興味を惹いていました。手に取ることをためらう幼児には、スタッフからのサポートで触れる機会を増やせたと思います。

年齢が上になると学童は積み木にチャレンジしていきます。積み木は幼稚園で遊んだことがあるといった声も聞かれ、保育園・幼稚園などへの木製遊具の導入が進んでいることを感じる場面もありました。

来場者の中には、展示販売されていた木のおもちゃを乳幼児のために購入する親もおり、また、子の有無を問わず出産前の夫婦が立ち寄って、おもちゃを手にとっている姿も見受けられました。その横に、子供の発育段階に合わせて推奨する木育玩具と、科学的根拠に基づいた教育効果について解説したパネルを一枚用意したかったところです。



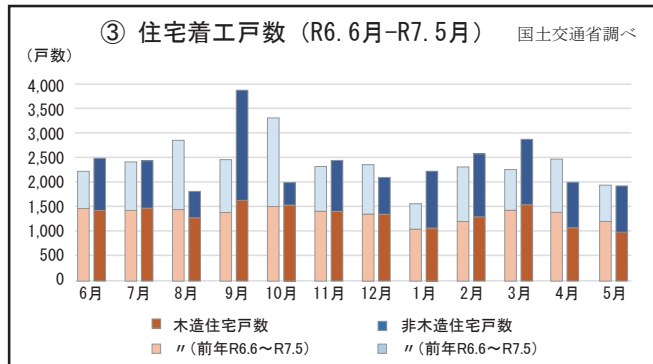
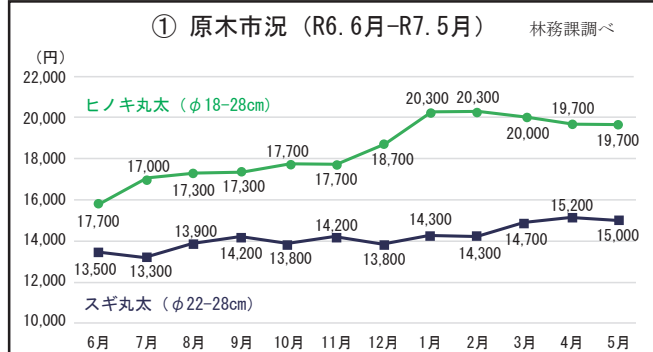
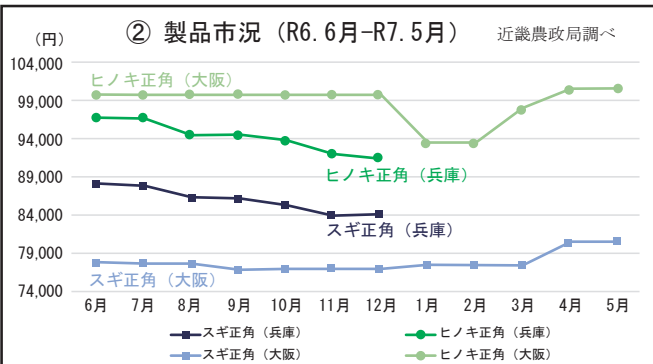
また、参加者の思いは様々で、家の床材に使う樹種を選ぶために、「音の階段」の色合いや触り心地などを参考にされる方もおられました。

普段自然の中で遊ぶ機会が減った子供たちにとって、木に触れて遊ぶ経験を持つことは重要です。木の心地よさを心の原風景にとどめ、木に触れる生活がしたい、木を扱う仕事や自然の中で働く仕事をしたい、といったところへつなげていくのが木育イベントの本来の目標だと思います。20年経たないと答えるの分からない業務ですが、必ず誰かの心の中につながります。子供の人生に影響を与えることを念頭に、真摯に取り組んで行かなければと思うところです。

加古川農林水産振興事務所森林課長 福政 俊浩

＜兵庫県内の原木市況・製品市況・住宅着工戸数＞

- ・原木は、燃料用及び製紙用の引き合いが強いことから、製品需要の低迷に関わらず、スギ・ヒノキ共に年明け前の水準を維持している。
- ・製品は、不需求期である冬場を越え、スギ・ヒノキともに価格を維持している。ただ、6月プレカット受注量が西日本で悪化しているとの報告もあり、今後の動向には注視が必要である。
- ・住宅着工数は、改正建築物省エネ法や改正建築基準法が全面施行される4月を前に全国的に「駆け込み需要」が起こり、兵庫県でも3月に着工数が増加した反動で以降は減少した。



※木材流通統計調査 (近畿農政局調べ製品価格) について、令和7年1月から兵庫県が調査対象外となったことから、以降の兵庫県製材品価格についての記載はありません。

県産広葉樹苗木生産者育成研修のご案内 ～広葉樹苗木生産の担い手を目指して～ 最後の研修となります！

新しい苗木生産技術を活用して、その地域にあった優良な広葉樹苗木を養成する「広葉樹苗木生産者」の育成を図るため、県林業種苗協同組合が、県から委託を受けて、郷土広葉樹苗木生産者の育成研修を実施します。

専門的な育苗技術を身に付けていただく専門コースのほかに、県産広葉樹苗木生産に関心を持っていただくため、1日だけの公開講座も併せて開催します。

定員：公開講座15名、専門コース10名 締切9月19日

【お問合せ先】

兵庫県林業種苗協同組合 ☎078-351-0734



【日程表】講座番号1と、2又は3のどちらかを受講 公開講座はどなたでもご参加いただけます。

講座	日 時	主な内容【場所】	主な講師
1	【公開講座】 10月3日(金) 13:10～16:00	広葉樹苗木の生産管理、樹種特性、 広葉樹材の利活用など 【県立森林大学校研修室他】	県林業種苗協同組合役員、 森林林業技術センター研究員
2	【専門コース】 10月10日(金) 13:10～16:00	広葉樹種子の管理、苗木生産現場の現 状、広葉樹苗木生産管理実習 (県北部) 【県立森林大学校研修室他】	県林業種苗協同組合役員
3	【専門コース】 10月15日(水) 13:00～16:00	広葉樹種子の管理、苗木生産現場の現 状、広葉樹苗木生産管理実習 (県南部) 【淡路市黒谷苗圃】	県林業種苗協同組合役員

※県立森林大学校 (宍粟市一宮町能倉772-1 ☎0790-72-2700)

「六甲山の災害展」の開催について ～令和7年8月13日から24日まで～

兵庫県神戸県民センター六甲治山事務所・農林水産部治山課

令和7年1月17日で阪神・淡路大震災から30年が経過しました。

緑豊かな六甲山は、これまで幾度となく自然の猛威にさらされ、市街地にも被害をもたらしました。

昭和13年の阪神大水害や昭和42年の豪雨災害、平成7年の阪神・淡路大震災など、大規模災害の発生とともに復旧・復興の歴史が繰り返されています。

これまで、私たちが経験してきた阪神・淡路大震災等の教訓を風化させずに次世代に伝えていくためには、自然災害の恐ろしさや、防災の仕組みに関する情報を継続して発信していくことが大切です。

このため、本年も「六甲山の災害展」を開催します。「土石流模型実験装置」や「降雨体験装置」等を実演し、災害時の状況を目で見て体験いただけます。



土石流模型実験装置(左)と降雨体験装置(右)の実演(R6)

また、阪神・淡路大震災の特集パネルを展示します。ご家族皆さまで、防災対策について話し合う機会にもなりますので、ぜひご来場ください。

■「六甲山の災害展ポータルサイト」のお知らせ
展示内容や、防災情報を発信しています。

<https://rokkosan-saigaiten.jp/>



■開催日時
8月13日(水) から 8月24日(日)
9時30分から17時30分まで
(入館は16時30分まで・毎週月曜日は休館)

■開催場所
阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」
西館1階ロビー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)

■問い合わせ先
農林水産部治山課計画班 TEL: 078-362-3471



ひょうご木の匠の会

兵庫県産木材の家



私たちは、兵庫県産木材を使い、人と環境に優しい木造住宅を提案し建築します。

ひょうご木の匠の会 会長 日置 尚 文 (日置建設株式会社)
(事務局) 神戸市中央区北長狭通5-5-18 兵庫県林業会議
<https://hyogo-kinotakumi.net> TEL: 078-351-3341



神戸市中央区北長狭通 5-5-18 ひょうご森づくりサポートセンター URL: <https://www.hyogoforest.or.jp/sc/>
森 林 整 備: ☎078-599-5425 (ひょうご森林林業協同組合連合会内)・木材利用等: ☎078-371-0607 (兵庫県木材業協同組合連合会内)





緑の募金へのご協力をお願いいたします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。
緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、
子どもたちの環境学習などに活用しています。
ご協力いただける場合は、次の方法をお願いいたします。

ご寄附の方法

- 金融機関からのお振込み
①郵便局（手数料不要）
専用の払込取扱票をお送りしますので、当協会にご一報ください。
②銀行（手数料必要）
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所
普通 3198438 公益社団法人兵庫県緑化推進協会
- キャッシュレス決済（手数料不要）
ソフトバンクの「つながる募金」からキャッシュレスでご協力いただけます。



募金のページQRコード

●賛助会員入会のご案内●

私たちの活動を応援して下さる
賛助会員を募集しています。
入会金は不要です。
会員としてご支援いただきますよう
お願いいたします。（1口10,000円/年）

◇お問い合わせは◇

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
TEL 078-341-4070 FAX 078-341-4071
HP <https://hyogo-green.net/>

兵庫県緑化推進協会

検索



■540XPMarkⅢ



■質量：4.1kg
■排気量：39.1cm³
■出力：2.8KW

■T540XPMarkⅢ



■質量：3.8kg
■排気量：39.1cm³
■出力：2.8KW

本当の価値がわかる方へ！

最高のパワーウェイトバランスで耐久性も抜群。
生産性をさらに高めるチェーンソー
革新的な技術を融合し、これまで以上の加速と
トルクで他に類のない鋸断能力を発揮します。
新登場540XPMarkⅢ、ぜひお試しください。

愛林興業株式会社

本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL (079) 234-8181番(代)
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL (0790) 32-0570番
但馬店 養父市上野1357 TEL (079) 664-2101番



水源地域で公益的機能が発揮される森林を育成しています
緑をはぐくみ 水をつくる

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林整備センター Forest Management Center



水源林造成事業

●国民生活に不可欠な水の安定供給や国民の生命・財産を守るため
奥地水源地域で水を育む森林を造成しています。
●奥地水源地域の保安林の、土地所有者自身による森林整備が困難な木の生えていない荒れ地で、**公的なセーフティネット**として森林を造成しています。
●森林を再生し、水源かん養や土砂流出・崩壊の防止を通じて「**緑のダム**」としての機能を確保しています。

神戸水源林整備事務所 TEL(078)362-5800
兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)351-3341
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 5-5-18
(兵庫県林業会館5階)



詳しくはWebサイトをご覧ください

森林整備センター 検索

物品・役務等
入札情報



採用情報



分収造林契約
をお考えの方



土と水と緑の技術で社会に貢献します。

コンサルティング事業

斜面防災 | 治山・林道
河川・砂防・海岸
地盤環境 | 環境・緑化

インフラ整備・メンテナンス

地すべり防止工事
斜面・のり面工事
インフラメンテナンス

研究開発

In SAR | BIM / CIM
シミュレーション技術
空間情報技術



国土防災技術株式会社

神戸支店
神戸市中央区浜辺通2丁目1番30号(三宮国際ビル)
TEL:078-221-2213

但馬事業所
養父市八鹿町高柳字岸の下137番地の4
TEL:079-662-7108

▼会社HP



災害のない安全で安心な社会

- 治山、林道、造林事業の推進
- 山地防災・土砂災害対策計画



一般社団法人 兵庫県治山林道協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

HP 兵庫県治山林道協会



三井化学 グループ エムシー緑化の松枯れ防除剤

松枯れ防止樹幹注入剤

マツガード®
マツガードクイック®

ハダニの適用拡大

販売元 **正和商事株式会社**

マツノマダラカミキリ後食防止殺虫剤

マツガードフラッシュ®

〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目3番4号
TEL 06-6203-4541 FAX 06-6203-4347

「ひょうご里山フェスタ2025」開催のお知らせ

県民のみなさまが里山への理解を深めるとともに、里山を守り育てる意識醸成の場として、森づくり普及啓発全県イベントである「ひょうご里山フェスタ2025」を開催します。

■開催日時 令和7年10月12日（日）
式典 10:30～12:00
ステージイベント 12:20～14:50
出展ブース 9:30～15:00

■開催場所 たつの市中川原グランドほか
(たつの市龍野町富永地区)

■主催 ひょうご里山フェスタ2025実行委員会

■開催内容

○ステージイベント（特設ステージ）

- ・たつの市立龍野東中学校吹奏楽部
兵庫県警察音楽隊のコラボ演奏
- ・たつの市“いいもの”発信
バジル・醤油・そうめんなどの特産品
- ・チェーンソーアート

○展示等ブース

- ・展示（森林・防災パネル等の展示、森林関係団体の活動紹介など）
- ・体験（木工体験、木工クラフトなど）



ひょうご里山フェスタ2024の様子

・飲食（地元食材の販売、ジビエ料理等）

■会場までのアクセス

公共交通機関でお越しの方は、JR本竜野駅から徒歩で約15分です。

お車の方は、たつの市役所及び千鳥ヶ浜駐車場（揖保川河川敷）に臨時駐車場があります。

なお、シャトルバスによる送迎はありませんのでご注意ください。

■問合せ先

兵庫県農林水産部治山課森づくり普及班
TEL 078-362-3613



出展ブースの様子

『第40回ひょうご木材フェア』開催のお知らせ

兵庫県木材利用推進協議会

■はじめに

兵庫県木材利用推進協議会（県内林業関係11団体が構成）では、木材の良さを実感していただけのイベント「ひょうご木材フェア」を毎年開催しています。

本年も木材利用促進月間に合わせて開催いたしますので、是非ご来場ください。

■開催日

令和7年10月19日（日） ※荒天中止

■開催場所

神戸ハーバーランド 高浜岸壁周辺

■開催内容

木製の日用品や玩具等の販売、親子木工工作広場や子ども棟上げ体験、木材JAS製品や「梁-梁仕口TAPOS」等の紹介など、約20ブースを開設します。

また、ラジオ関西主催によるイベントの同日開催が予定されています。

■主催者・お問い合わせ先

兵庫県木材利用推進協議会

（事務局：兵庫県木材業協同組合連合会）

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号

TEL 078-371-0607

FAX 078-371-7662

URL（事務局）

<https://www.hyogomokuren.jp/>



編集後記

梅雨時のまとわりつくような蒸し暑さが続いていたかと思うと、いきなり真夏の日差しです。えっ、6月なのにもう梅雨明けですか。

いつまでも肌寒いと感じていた春が過ぎると、真夏のような暑さがいきなりやってきました。最近では35度を超える日も珍しくなくなりました。春夏秋冬の四季が日本の特徴でしたが、過ごしやすいつ春と秋がだんだん短くなっているように感じます。これも、地球温暖化の影響なのでしょう。各地で記録的な高温、豪雨災害、大規模な山火事の発生など地球温暖化の影響が身近に感じられるようになってきました。森林・林

業にかかわる者の一人として、あらためて適正な森林整備の推進に取り組んで参りたいと思います。

さて、4月に前局長の後任となり始めて企画から編集まで手掛けた「兵庫の林業」がいよいよ発刊されます。前局長のご苦労を実感した3か月でした。皆さんに読んでいただき「あの記事は参考になったよ」と、言っていたかのように前局長に引き続き頑張ってもらいます。

なお、これまでの「兵庫の林業」のバックナンバーは林業会議のホームページに掲載しています。是非、ホームページもご覧ください。

（編集事務局）

<https://hyogo-ringyoukaigi.com/>

